

FUKUOKA YOUTH TIMES

福岡地区青年会広報誌
vol.11(2017.6.30 発行)
--- † ---
福岡地区青年会広報係

†福岡地区青年会「九州青年キャンプ」

去る6月3日と4日に九州青年キャンプ in 福岡が浄水通教会にて行われました。テーマは「かたろうよ×かたろうよ」福岡、長崎、大分教区等から集まった数総勢(神父様シスター神学生を含む)70人。みんながかたって(参加して)語ってカトイ(カトリックな)時間となりました。天神ウォークラリーやテゼの祈り、各教区のアピールタイム、司教様司式の御ミサ等様々なプログラムが用意されていた中、一番に残ったのは分かち合いです。

分かち合いでは、班に分かれて一人一人で作成したカトグラフを用いて語り合いました。カトグラフとは生まれた時から今現在までの自分と神様の距離を折れ線グラフで表したものです。出来上がったカトグラフはそれぞれ全然違うものでたくさんの発見がありました！



例えば、生まれた瞬間が一番神様に近いと感じている人もいれば、意識して教会に通い出すようになってからの方が近いと感じる人、全く逆の感じ方だけど、どちらも素敵だと思いませんか？この時間の中で、自分の信仰を見つめ直し、新たにいろいろな人の感じ方や価値観を知ることでこれからの信仰を深めていくヒントを得ることができたと思います。

とても、濃密な2日間でした。今回参加することができてよかったです。代表の浦越未来ちゃんを始め、スタッフの皆さんありがとうございました。神に感謝。
(大名町教会・荒牧結花)



†リレートーク「ワタシとセイネン会」- (4) -

「久しぶり！元気？」「最近会ってなかったけど、調子どう？」

私にとっての青年会とは、兄弟姉妹の延長線のようなものである。

いつもそばにいるわけではないのに、ふと集まればずっと一緒にいたような感覚に浸り、会話も弾む。こんな素敵な関係がこのご時世、他にあるのだろうか。

近年、他者との交流やコミュニケーションを苦手としている人が増加していると騒がれているのを横目に、青年会の集まりとなると学生、社会人、国籍などの様々な肩書きを持った若者たちがバックグラウンドを越えた関わりを持つ。この現象こそ、神様からのお恵みでは無いだろうか。

私は幼児洗礼を受け、敷かれたレールの上を走るように生きてきた訳であるが、この年になり、やっと！カトリックの素晴らしさ、偉大さに気づきつつある。そして、仕事に戻り、次回の兄弟姉妹に会える日を楽しみに待つのである。
(笹丘教会・峯綾子)



†これからの予定

FYCC14 (福岡ユースカトリックキャンプ)

日程：8/11(金・祝)～12(土)

場所：カトリック大楠教会
(福岡市南区)

参加費：2,500円

(兄弟姉妹割2,000円)

申込〆切：7/28(金)

問合せ：大楠教会 092-521-6946
catholic_fukuoka_chuukousei@
yahoo.co.jp

■福岡地区青年会 ・E-mail：fukuoka.info@gmail.com

・ブログ「FYCB」：http://ameblo.jp/f-ttk/

・Facebook ページ：「カトリック福岡地区青年会」

